

「令和6年能登半島地震」の被災者の方へ

免除証明書の提示により、

医療機関等での支払いが不要になります



令和7年6月30日時点

【医療保険の窓口負担に係る免除証明書交付対象者】

(1)・(2)の両方に該当する方

(1) 災害救助法の適用市町村の一部の市町村の住民の方で、次の保険者に加入されている方

対象保険者(新潟県)

全国健康保険協会(協会けんぽ)

(上記以外に、一部の健保組合・国保組合についても免除される場合があります。詳細は各組合にお問い合わせください。)

(2) 次の①～⑤のいずれかに該当する方

- ① 住家の全半壊、全半焼、床上浸水又はこれに準ずる被災をされた方
- ② 主たる生計維持者が死亡し又は重篤な傷病を負われた方
- ③ // の行方が不明である方
- ④ // が業務を廃止、又は休止された方
- ⑤ // が失職し、現在収入がない方

【受診・利用の流れ】

医療機関等の窓口で、**原則として猶予(免除)証明書を提示することにより**医療保険の窓口負担について、**支払いが不要となります。**

※上記の窓口にて口頭で申告し、支払いが不要となる取扱い**は原則として令和6年12月末まで**となります。**令和7年1月以降は原則として①マイナ保険証等、②猶予(免除)証明書を医療機関等の窓口で提示**することで、猶予(免除)を受けることができます。

【特例の期間】 **令和7年9月末まで**

上記対象保険者のうち、有効期限欄に「令和6年12月31日まで」と記載されている猶予(免除)証明書でも、引き続き令和7年9月30日まで、使用することができます。)

【留意事項】

- ・ 上記の医療保険の加入者であれば、県外の医療機関等を受診された場合にも支払いを求められることはありません。
- ・ なお、入院・入所時の食費・居住費などはお支払いいただく必要があります。
- ・ 上記以外の保険者については、医療保険の窓口負担をいただく必要がありますが、一定期間は支払いが猶予される可能性があります。詳細は各保険者にお問い合わせください。

○お問い合わせ

この窓口負担の取扱いについて、ご不明な点があれば、ご加入の各保険者にお問い合わせ下さい。